

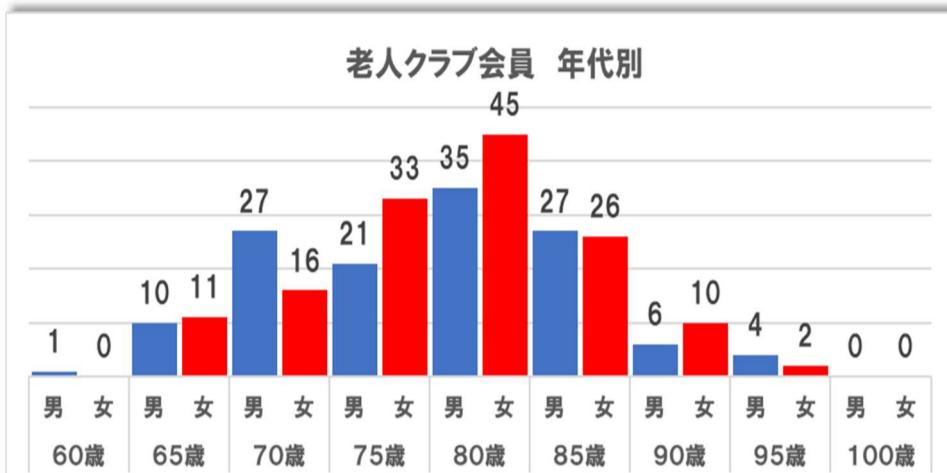


事業全体の景色

3つの時間を楽しむ～わたし、あなたと、みんなで



加茂市朗人クラブの現状と課題



◆80歳が中心会員！ でも…………

(現在の年齢) - (14歳) = (リアル年齢)

老人クラブが生まれたのが60年前。当時の平均寿命の伸び(約70歳～約84歳 約14歳の伸び)を考えると、「80歳」以上の高齢者イメージは全く違う。

生活スタイルの変化した現在、「80歳」と言っても、「自立した生活」と「趣味や運動」を十分楽しめる年齢である。

今後の老人クラブの事業を考える上で、「高齢者」をまとめて見るのではなく、「若年・高齢者」(70歳)、「中心・高齢者」(80歳)、「熟年・高齢者」(90歳)など、よりきめ細かに考える必要がある。

◆会員数の減少 = 高齢者の「老後」の選択肢が増えた結果！ 老人クラブ事業の立ち位置の確認を！

高齢者人口(灰色)の増加にもかかわらず、会員数(黒色)は、むしろ減少している(全国的な現象)。

ライフスタイルの変化(約3割の高齢者が「収入のある仕事」に従事^{※①})だけでなく、「年齢枠のない」活動に参加する高齢者が増え、結果「老人クラブ離れ」が見られると考えられる。老人クラブの事業の立ち位置(基本方針)を再確認する必要がある。また、単位老人クラブ間の連携取組や、地域に働きかける活動を通じ老人クラブの認知度を高める必要もある。

※①「加茂市老人福祉計画・第9期加茂市介護保険事業計画(令和6年度～令和8年度)」P21
◀左グラフは高齢者人口(65歳以上)と、老人クラブ会員数の推移を示したもの

◆「コロナ後」の成果(令和5・6年比較)と今後の展望 ・成果 会員のニーズに合わせた事業による参加者増

令和5年度 15% (令和5.4月～令和6.3月)

令和6年度 24% (令和6.4月～令和6.10月)

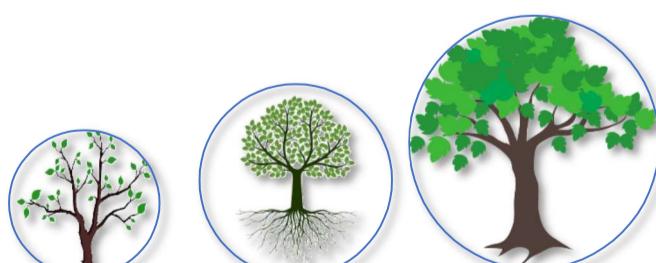
※60周年大会を含む 50% ()

令和6年度新規に行った創立記念大会と親善スポーツ大会を加えれば、全体の半数の会員が参加している。(令和6.10月)

以上から、会員のニーズ(移動手段の利便性や事業内容の拡大以外も)の掘り起しが重要であることが分かる。

令和7年度の展望～「健康・友愛・奉仕貢献」+「連携」の視点

以上のことから、老人クラブの立ち位置を明確にするため、①3つの活動重点(健康・友愛・奉仕貢献)に核にした事業再編、②各老人クラブ間や地域社会との連携を意識した事業を展開していく。



課題 「老人」から「朗人」へ～～2025加茂市老人クラブ事業の重点

「健康・友愛・奉仕貢献」と「連携」(会員間・老人クラブ間・社会)
(朗人クラブの活動の目的) (加茂市朗人クラブの課題)

楽しくわたしが！



健康
こころとからだ



くらべる 中核 けんこう

楽しく



あなたと

+ビデオゲーム



友愛

支える・交流する

友愛募金・タオル寄付



★バス研修旅行支援

★老人クラブ連携支援(バス代)
社会福祉協議会のバス代金
を、複数クラブ共同利用で補
助(年1回)



お祝い金

★慶朗の日(9.5)社会祝い金
90歳(卒寿) 95歳(珍寿)
の会員に、お祝い金を渡す
各三千円、五千円(商品券)

★学校と連携した福祉

★学校と連携(タオル集め)
従前の寄附活動に加え、
学校回収箱の設置で、学校
(石川小)と福祉教育に貢献

楽しく



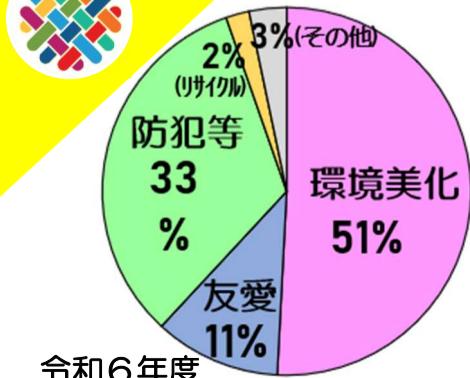
みんなで！



★地域の環境整備活動
社会奉仕の日を中心に、各単位
老人クラブを中心に活動。
令和6年度のべ700人の参加

奉仕(貢献)

地域と異世代への働きかけ



★地域おこし

(公民館西分館行事・市商工会議所と)
令和7年度は、できるところから取り組む。
ナイトバザールに作品展示

- 朗人制作委員会を中心に活動
- ・イベント ナイトバザール(秋)
- ・会場 西加茂分館
- ・内 容 (仮)和紙と灯り作品
- ・その他の 外部人材の活用
(加茂紙、作品指導)